

ブリュッゲル展 画家一族 150年の系譜  
関連コンサート

# 絵の中の音楽が 聴こえてくる

2018  
7/16 入場無料  
月祝

[開場] 13:30 [開演] 14:00  
\*休憩なし(1時間程度の公演です)  
\*当日正午より配布される整理券が必要です  
\*未就学児童の入場はご遠慮ください

場 所 [定員160人]  
美術館講堂

出 演  
古楽アンサンブル  
竹内太郎 (リュート、バロックギター)  
荻野美和 (バロック・ヴァイオリン)  
西谷尚己 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

ブリュッゲル展の展示作品の中に、ヤン・ブリュッゲル2世作「聴覚の寓意」があります。数々の古楽器が描かれ、楽器の豊かな音色が聴こえてきそうな作品です。今回、世界で活躍中の竹内太郎さんと古楽アンサンブルの演奏で、失われてしまった豊かな音楽のシーンが現代に蘇ります。数百年の時を経て、ブリュッゲル時代の音楽をお楽しみください。

(総合プロデュース 中野真理子)

展覧会案内

企画展「ブリュッゲル展 画家一族150年の系譜」 展示室 8

コレクション展 / 「豊田市美術館+愛知県美術館」

展示室 5

コレクション展 / 「閉じる、開く、また閉じる」

展示室 1~4

コレクション展 / 「高橋節郎一漆の彩り・黒と金の幻想」 高橋節郎館

いずれも、  
7/16(月・祝)まで開催

休館のお知らせ 改修工事のため、2018/7/17(火)~2019/5/31(金)まで全館休館します。

主催: (公財)高橋記念美術文化振興財団

問合せ先: 豊田市美術館 ☎0565・34・6610(代表) 〒471-0034 豊田小坂本町8-5-1



# 古楽アンサンブル

## 演奏者プロフィール

古楽アンサンブル 代表

**竹内太郎** Taro Takeuchi (リュート、バロックギター)

京都出身。立教大学卒、ギルドホール音楽院古楽科修了。ナイジェル・ケネディ、レイチェル・ボッジャー、サイモン・ラトル、ベルリンフィルなどと共演。CD、DVD など多数。ソロディスクには「フォリアス!」「アフエットーソ」「可愛いナンシー」(読売新聞/朝日新聞推薦盤)などがあり、「最上のバロックギターアルバム」(グラモフォン)、「古楽器界のコルトレーン」(古楽ニュース)、「高貴な演奏」(ロンドン・タイムズ)と評された。

古い音楽に関する論文/記事も多く、2018年にはオックスフォード大学出版の「アーリー・ミュージック」に学術論文「リージェンシーリュートの再発見」が掲載されている。

ワルシャワ・ショパン音楽院招聘教授(1997年度)。ケンブリッジ大学シドニーサセックスカレッジ・リサーチグループ所属(2010年~現在)。英国リュート協会前理事。ロンドン在住。



公式HP  
<http://tarolute.crane.gr.jp/>

**荻野美和** Miwa Ogino (バロック・ヴァイオリン)

愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。ザルツブルグ、モーツァルテウム音楽院、スイス、ルツェルン音楽院にてマスターコースを受講。近年、古楽器に興味を持ち演奏、研究を始める。スペイン・ダロカ国際古楽アカデミーに参加、フランソワ・フェルナンデス氏に親しく指導を受ける。東海バロックプロジェクトメンバー。



**西谷尚己** Naoki Nishitani (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

静岡出身。桐朋学園大学古楽器科研究科修了。デン・ハーグ王立音楽院をソリスト・ディプロマを得て卒業。ヴィオラ・ダ・ガンバを宇田川貞夫、中野哲也、ヴィーラント・クイケン各氏に師事。室内楽をクイケン兄弟、ウィルバート・ハーツェルツェット、ジル・フェルドマン、他に師事。ネーデルランド・ダンスシアターのプロジェクトに出演するなどオランダ各地でソリスト、通奏低音奏者として演奏活動を行う。現在、日本各地で演奏、指導活動を繰り広げている。「ソレイユ・ルヴァン」、「レ・キャトル・セゾン」、「ムジカ・エランテ」メンバー。



## イベント案内

お庭でマルシェ

期間 2018/7/14(土)~16(月・祝)

時間 10:00~16:00

おしゃれな雑貨や軽飲食のお店  
約20店舗が出店



豊田ジャズキャラバン Vol.2

日時 2018/7/15(日) 随時

場所 マルシェ内

出演者 とりかいつよし  
鳥飼威志

